



社会教育主事「K」が行く



～取材編～



みなさんこんにちは！社会教育主事「K」です。皆さんは「公民館グループ・サークル」を知っていますか？公民館グループ・サークルとは、その名のとおり、公民館を活動拠点として、共通の興味や目的を持つ仲間が集まり、自主的に人との繋がりや健康づくりなどの学習活動に取り組む団体のことです。今回は、そのような団体の1つである「砂川フォークダンス同好会」を取材しました。無料体験会と空知太小学校で外部講師（学習支援等ボランティア）として授業を行った様子を紹介します。

無料体験会は、5月19日から6月12日の間、月曜日と木曜日のコースに分かれ、それぞれ4回ずつ実施されました。総勢26名が参加し、中には三笠市や岩見沢市から参加された方も。音楽を耳で楽しみ、リズムに合わせて体を動かし、全員の笑顔が絶えない体験会となりました。



▲まずは入念な準備体操！フォークダンスは全身を使うため、上半身・下半身それぞれをしっかりほぐします。

▼ペアの曲目では、パートナーの目と表情をしっかりと見て、息を合わせることを意識しました。



▲4人1組で踊る曲目もあり、これが一番難しかったです。しかし、失敗も全員で笑って和やかな雰囲気での体験会でした。

6月26日（木）、砂川フォークダンス同好会が空知太小学校の授業に招かれました。公民館グループ・サークルは学習支援等ボランティアとして、学校の授業をお手伝いすることもあります。今回は「タタロチカ」と「ビン・バン・ボン」という2曲を子どもたちと一緒に踊る体育の授業。フォークダンスを通して、音楽に合わせて体を動かすことの楽しさと、全員が同じ踊りに挑戦し統一感のある動きができた時の達成感を得る生き生きとした授業となりました。



▲はじめは緊張した様子の子も多かったですが、真剣にお話を聞いています。



▲手をつないで円になり、右回りでの踊り。少しずつみんなの息が合っていきます。



▲最後は全員でポーズを決め、「ヤクシー！」という大きな掛け声が体育館に響きました。